

事例 IKR-7 耐震補強工事（N住宅）



本建物は、昭和56年以降の新耐震基準で建築された木造建築でしたが、令和7年に耐震診断を実施し、全面リフォーム工事に併せてさらに耐震性を高める耐震補強工事を実施しました。

旧耐震建物は補助制度を活用した工事をお勧め！

1 建物概要

N住宅（宮崎市）：1998年（平成10年）竣工：木造2階111㎡

2 補強工事の概要

耐震補強後の上部構造評点（現基準1.0以上）については、ペットと居住していることや被災後の補修軽減化を考慮して、目標値1.9以上を設定し、下記の補強方法を採用しました。

- ① 耐力壁に筋違、耐力合板、柱頭柱脚の補強金物による補強
- ② 1階の2部屋のLDK化に伴い、筋違のデザイン化等を行い、かつ1・2階とX・Y方向の強度バランスを確保しました。

3 補強工事の評点

	耐震診断時	完成補強後	差分
2階 X方向	1.27	2.60	1.33
2階 Y方向	1.26	2.22	0.96
1階 X方向	0.76	2.00	1.24
1階 Y方向	1.01	2.02	1.01
最小評点	0.76	2.00	+1.24
備考（合計）	4.30	8.84	2.05倍

住宅の耐震補強はリフォーム工事と効果的に！

4 補強工事の結果

補強前の評点は0.78（倒壊する可能性がある）となっていたですが、今回の補強工事により2ランク上の2.0以上に改善され、大規模な地震時にも倒壊しない耐震性を有することが出来ました。

5 工事写真



☐ 補強計画 伊藤建築リサーチ 宮崎市島之内482-2 0985-39-2982
☒ 補強工事 有限会社ヒラシマ 高岡町飯田4丁目6-14 0985-82-0146